政治社会学会（ASPOS）
第 10 回総会及び研究会大会プログラム

2019 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）

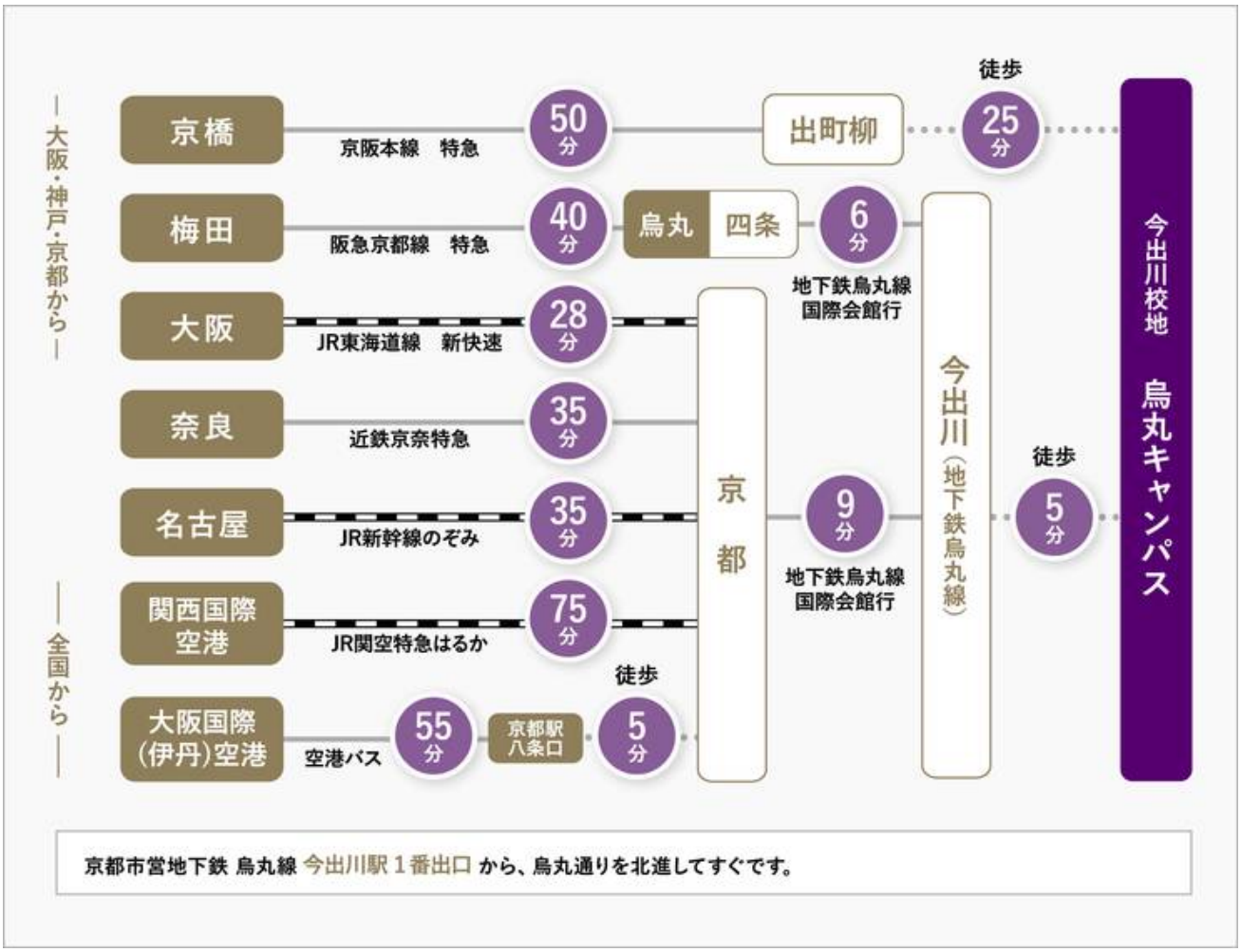
同志社大学（於：京都）

ASPOS

政治社会学会（ASPOS)第 10 回総会及び研究会大会プログラム日程

2019 年 11 月 9 日（土)、10 日（日）
場所：同志社大学　烏丸キャンパス　志高館　1 階　SK110 教室　（次ページマップ参照のこと）
（京都市上京区烏丸通上立売上る相国寺門前町 647-20）

アクセスとキャンパスマップ



https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/karasuma.html

政治社会学会会場　　同志社大学烏丸キャンパス　志高館　1 階　SK110 教室
＊カジノ番号 28 番の建物が会場です。

https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/karasuma.html

1 日目：11 月 9 日（土）

10：00－11：30　自由論題セッション（SK110 教室）

司会　　新川達郎（同志社大学）

「The unfixed border between socialist and neoconservative in Kyoto prefecture in the 1950s」吉田龍太郎（慶応大学）

「内発的発展と協働」藤本慎介(同志社大学)

「いけばな療法とまちづくり」浅井清美（同志社大学）

「地域社会における多文化共生の課題」鈴木暁子（京都府立大学）

グループディスカッション：参加者全員による討議

11：30－12：30　理事会（SK288 教室）、昼食休憩

12：30－13：00　総会（SK110 教室）

13：00－14：00　昼食休憩

14：00－15：00　特別講演（SK110 教室）

「観光と文化を考える」（井口貢　同志社大学）

15：00－17：45　共通論題 1「ラウンドテーブル「日韓問題を考える」（SK110 教室）

基調報告　　三石博行（関西政治社会学会会長）

報告 2　　日韓カンファレンス参加者による報告

グループディスカッション

18：00　懇親会

2 日目：11 月 10 日（日）

10：00－12：00　公募企画テーマセッション　（SK110 教室）
「原発事故における「責任」言説の変容～新聞社説を事例として」

司会　三石博行（関西政治社会学会会長）

報告 1　「福島原発事故をめぐる「危機」と「責任」に関するメディア言説の分析―『朝日新聞』の社説を事例として」山腰修三（慶応義塾大学）・三谷文榮（日本大学）

報告 2　「福島原発事故をめぐる「危機」と「責任」をめぐるメディア言説の分析―読売新聞社説を事例として」加藤朋江（福岡女子短期大学）

報告 3　「原発事故における「責任」言説の変容―毎日新聞社説を事例として」大賀哲（九州大学）

12：00－13：00　理事会（SK288 教室）、昼食休憩

13：00－16：00　共通論題 2・「現代社会におけるツーリズムの展望」（SK110 教室）
「観光と教育の両視点からみる地域の持つ可能性」

司会　市川顕　（東洋大学）
泰松範行（東洋学園大学）
丸岡泰（石巻専修大学）

グループディスカッション